

# 遊歩一景

## 日吉台半田池 (日吉台学区)

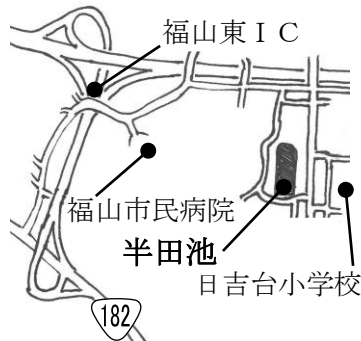


学区のお宝  
健康づくりロード  
半田池  
池畔遊歩道

日吉台小学校西側の団地沿いの丘陵地に半田池があります。半田池は1998年7月に竣工した洪水調節池で手城川流域の洪水・浸水などの被害を軽減する役割を持ち、南北170m、東西約70mに広がっています。

2013年度に地域のボランティアグループ・日吉台団地お役にたち隊(世話人=萩原健二さん)の14名が半年かけて重機やカマ、ノコを使い雑木を取り除き、池の東側に小道を作り、池の西側にあった農道と繋ぎ池畔遊歩道を整備しました。

遊歩道には、手作りの木のベンチの設置や桜の植樹、バラ花壇等の整備を行い、四季折々の花を楽しむ「健康づくりロード」として親しまれています。池の畔にあるコンテナを開くと、遊歩道が完成するまでの過程が分かるようになっています。また、防災倉庫も併設されており、地域住民の安全と健康促進の役割を担う大切な宝ものです。



他の写真・資料 ⇒



# 東部いれこみ情報

学習情報  
No.266

2023年(令和5年)11月1日

11月号

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カラーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・QRコード



◆◆◆人権問題講演会◆◆◆

## 親切の極意

### 『無関心の壁を打ち破れ!』

#### ～サッカーワールドカップと被災地支援～

講師 **ちよんまげ隊長ツンさん**  
(角田寛和さん)

日時 **12月9日(土)**

開演 14時(開場13時30分)

終了 15時30分

会場 **東部市民センターホール**

(福山市伊勢丘6-6-1)

内容 サッカーワールドカップでの清掃活動や被災地支援の取組について

参加無料

定員 100人

※要事前申込



＜プロフィール＞

カタール・W杯FIFAファンリーダーとして東アジアでただ一人カタールに招待され、現地から情報発信。2011年東日本大震災以降サッカーのネットワークで支援を継続。災害を風化させない講演は全世界で500回以上。W杯に3回、被災地の子どもを招待。エチオピア・ネパール貧困支援などの活動の場は世界。ちよんまげ甲冑で14年間活動。

主催・申込先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

・期間 **11月1日(水)～11月30日(木)**

・場所 **東部市民センター 2階ロビー**

YouTube・トーチューブ

YouTubeチャンネル: YouTube F ⇒



## 引野学区の住民学習でパネル展示

引野学区の人権文化を高める会は、今年も引野交流館でパネル展を10月17日から10月20日の5日間「戦争の悲惨さを伝える写真展・Ⅳ」と題して開催しました。期間中は多くの住民の方に、啓発パネルを見て頂き、平和の大切さを知っていただきました。

また、引野小学校の児童も学年ごとに交流館に来館して、引野交流館の館長から啓発パネルについての説明を受けました。

子どもたちは、啓発パネルを見ながら、日本が戦争をしたことは知っていたが、住んでいる福山が空襲にあい福山城を含めた地域一帯が焼け野原になったことや、「ウサギの島」として知られている竹原の「大久野島」に毒ガス製造工場があったことなど、知らなかったことも沢山あり熱心にメモを取りながら学習していました。



今回で4回目になったパネル展も、2階の大会議室と図書室に外の倉庫から展示用の大きなパネルを運んだりするなど準備から、展示終了後の片づけまで地域の方の協力により開催ができました。

昨年よりも地域の方の協力者が増え、効率よく準備等ができてとてもよかったです。



## 銀河学院高校生が積極的に地域の方々と関わっています

銀河学院高校生が、高齢者世帯の粗大ごみを集積所に運ぶボランティア活動を行いました。これは、卒業を迎える3年生が地域の清掃活動を続けていることを知った市社会福祉協議会から話があり実現したもので、他にも、秋祭りにみこしのかつぎ手の役割を担いました。



粗大ごみ運搬の様子

地域との交流は、44年前の開校時から続けているそうです。女子校だった当時から、学校行事の針供養に地域の方々をお招きし、神事の後に行われる直会（なおりい）という会食の場で、学校と地域との交流を深めてきました。

ここ数年はコロナ禍で来校していただくことができませんでしたが、交流を途絶えさせないため、針供養を楽しみにしていた方々にお菓子を配ったそうです。

### 少しずつ広がる地域との交流

昨年12月の清掃活動で、地域に声をかけたところ、大勢の参加がありました。生徒会長の延明快さんは、「粗大ごみは、高齢者が運ぶのは難しい大きさと量だった。高齢社会や一人ぐらしの課題を痛感したので、ぜひ継続していきたい。また、生活道路が落ち葉ですべりやすいので、清掃をしたい。」と話してくれました。



生徒会長の延明快さんと担当の日野先生



# 東部管内イベント・講座情報

## 野々浜交流館

### ネイチャーゲーム自然教室

【日 時】11月11日(土)

10時～12時

【講 師】小笠原 康成さん

(広島シェアリングネイチャー協会理事・福山  
シェアリングネイチャーの会運営委員長)

【対 象】小学生 【定 員】15人

【材料費】100円

【申し込み・問い合わせ先】

野々浜交流館 084-943-9412

## 野々浜学区・大津野学区協働事業 東部ヒューマンカレッジ

### 映画上映会

ぼけますから、よろしくお願ひします。  
～おかえりお母さん～

【日 時】11月19日(日)

開場 8時30分

開演 9時

【会 場】野々浜小学校体育館

\*定員はありませんが、申し込みが必要です

【申し込み・問い合わせ先】

野々浜交流館 084-943-9412

大門交流館 084-943-4252

## 日吉台交流館

### 歴史講座

### 大河ドラマ「どうする家康」に見る ウソホント!

【日 時】11月22日(水)

10時～11時30分

【講 師】寺田 正治さん

(NHK文化センター広島教室講師)

【会場・申し込み・問い合わせ先】

日吉台交流館 084-943-4054

## 春日コミュニティ館

### 連続講座 発達障害について知ろう

#### ①幼児期、児童期の関わり方について

【日 時】12月9日(土)

14時～15時30分

#### ②おとなの発達障がいについて

【日 時】1月27日(土)

14時～15時30分

【講 師】福井 一仁さん

(自由館代表/遊心工房所長)

【内 容】発達障がいについて理解を深め、  
困っていることを一緒に考えます。

【会場・申し込み・問い合わせ先】

春日コミュニティ館 084-943-2531

## 幕山交流館

### 防災講座 もしもの災害に備えて

### ～防災のお話とパラコードブレスレット作り～

【日 時】11月29日(水)

10時～11時30分

【講 師】福山市防災リーダー

【定 員】15人 【材料費】400円

【会場・申し込み・問い合わせ先】

幕山交流館 084-947-0095

## 東部図書館からのお知らせ

### 展示「音を楽しむ ～ドレミ展覧会～」

【期間】11月22日(水)～12月18日(月)

【場所】東部図書館 1階フロアー

### サロンコンサート

【日時】11月28日(火) 14時～14時30分

【場所】東部図書館 2階集会室

【内容】大正琴の演奏

【出演】アンサンブルコスモス

### あかちゃんといっしょの

### おはなし会

【日時】11月10日・17日(金)

11時～11時20分

【場所】東部図書館 2階集会室

【内容】絵本の読み聞かせ、紙芝居、  
手あそびなど

【申し込み・問い合わせ先】

東部図書館 084-940-2575

## 映画「みんなの学校」に学ぶ

2015年に公開された映画「みんなの学校」は、大阪市に実在する市立青空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画で、現在も各地で地域上映されています。

作品を通して、障がいがある子ども友だちづくりが苦手な子ども、様々な生活環境に置かれている子ども、みんなの居場所であることが「地域の学校」の役割であり、地域もそうありたいと学びました。

## お互いを受け入れ合うこと

どの子ども、周囲の人と関係する機会の中で、泣き笑いしながら「人を大切にする力」や「自分の考えを持つ力」、「自分を表現する力」や「チャレンジする力」を育てているそうです。

これらの力が育つことで、やがてお互いを受け入れ合う人間関係が作れるのでしょう。

## ふくやま人権大学で「多様性」の講座をします

今年度のふくやま人権大学は、「あなたのそれもあり わたしのこれもあり ～多様性は力になる～」と題して開催。受講受付中です。

●日時 ①11月18日(土) ②11月25日(土)

いずれも 10時～11時30分

●場所 福山平成大学

●講師 上村 崇 さん

(福山平成大学福祉健康学部教授)

※ 詳しくは各地域振興課にお尋ねください。



ふくやま  
人権大学 HP

## 「人権・多様性社会」を考える機会に

「東部いれこみ情報」では、「人権・多様性社会」について特集記事を連載します。考え合う機会としてお読みいただけましたら幸いです。

講演会  
報告

## 端材から見える持続可能なものづくり ～SDGsな企業のあり方～

9月30日に東部市民センターでSDGsについて考える講演会を開催しました。講師は、廃材を利用した染織製品の製作・提案などを行っている新里カオリさんをお願いし、地域資源や環境を大切にしたものづくり、暮らし方についてお話していただきました。

新里さんは学生時代に大量生産、大量廃棄される衣料品に疑問を抱き、いつか自然循環型のものづくりをしたいと考えていた中で、尾道市向島に出会い、東京から移住されました。

会社では、農家や家具屋から出る木っ端、鉄鋼所から出る鉄粉など、ごみとして捨てられていた物を染色の材料「資源」として捉え直して活用されています。

「ごみかどうか、別のことに使えるのではないかと考えるのが楽しい。SDGsは『やらなければならない』と考えるより、『続けるを楽しむ』ことが大切だ。」と話されていました。

参加者からは、「地域の資源を見直したい」「物を簡単に使い捨てにしない」「日常でできることがたくさんあるように気付かされた」などの感想がありました。

桜のよんよん

11月には、こども家庭庁が「オレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン」月間と定め、家庭や学校、地域などの社会全体が児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう広報や啓発活動に取り組んでいます。(2022年度までは厚生労働省が児童虐待防止推進月間として実施)

この運動は、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

「あなたしか 気づいてないかも そのサイン」が今年の標語です。

先日、地域別住民学習会で児童虐待を取りあげたDVDを観ました。主人公のアパートの隣室の子どもが虐待を受けており、通報するかどうか迷うが、勇気をもって通報し、子どもは救われるという内容でした。まさに、今年の標語にあるように、自分しか知らないサインを見逃さず、通報することが大切だと思います。

東部市民センターでも「なくそう！子どもの虐待」の展示をします。ぜひお立ち寄りください。

